

市議会だより 第126号



すみや
墨谷リトルのみなさん

もくじ

- 第1回定例会で審議した議案とその結果など
… 2～5ページ
- 各委員会の議案等の審査結果
… 14・15ページ
- 市政に反映、皆さんの声(代表・一般質問)
… 6～13ページ
- インタビュー、編集後記
… 16ページ



平成31年 第1回(3月)定例会 2/26~3/25 28日間

本定例会では、条例制定や一部改正及び平成30年度の各会計の補正予算、また、平成31年度一般会計予算や特別会計予算などの審議を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	日田市障がいによる差別を解消し誰もが心豊かに暮らせるまちづくり条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第2号	日田市日田駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定について	〃
議案第3号	日田市敬老年金条例の廃止について	〃
議案第4号	日田市総合計画審議会条例の一部改正について	〃
議案第5号	日田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議案第6号	日田市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	〃
議案第7号	日田市基金の設置、管理及び処分に関する条例及び日田市国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第8号	日田市分担金徴収条例の一部改正について	〃
議案第9号	日田市手数料条例の一部改正について	〃
議案第10号	日田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	〃
議案第11号	日田市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について	〃
議案第12号	日田市部落差別等をなくし人権を守る条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第13号	日田市が設置する一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第14号	県営土地改良事業等分担金徴収条例の一部改正について(農地防災事業関係)	〃
議案第15号	県営土地改良事業等分担金徴収条例の一部改正について(中山間地域総合整備事業関係)	〃
議案第16号	日田市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部改正について	〃
議案第17号	消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備について	原案可決(多数)
議案第18号	工事請負契約(普通河川中村川災害復旧工事)の締結について	原案可決(全会一致)
議案第19号	工事請負契約(準用河川白岩川災害復旧工事)の締結について	〃
議案第20号	市道路線の廃止について	〃
議案第21号	市道路線の認定について	〃
議案第22号	玖珠町の町道路線認定の承諾について	〃
議案第23号	平成30年度日田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(多数)
議案第24号	平成30年度日田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第25号	平成30年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第26号	平成30年度日田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第27号	平成30年度日田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第28号	平成30年度日田市給水施設事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第29号	平成30年度日田市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第30号	平成30年度日田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第31号	平成30年度日田市情報センター事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第32号	平成30年度日田市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第33号	平成30年度日田市下水道事業会計補正予算(第3号)	〃
議案第34号	平成31年度日田市一般会計予算	原案可決(多数)
議案第35号	平成31年度日田市国民健康保険特別会計予算	〃
議案第36号	平成31年度日田市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議案第37号	平成31年度日田市介護保険特別会計予算	〃



ひた市議会だより

議案番号	件名	議決結果
議案第38号	平成31年度日田市診療所事業特別会計予算	原案可決(多数)
議案第39号	平成31年度日田市簡易水道事業特別会計予算	〃
議案第40号	平成31年度日田市給水施設事業特別会計予算	〃
議案第41号	平成31年度日田市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	〃
議案第42号	平成31年度日田市農業集落排水事業特別会計予算	〃
議案第43号	平成31年度日田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第44号	平成31年度日田市情報センター事業特別会計予算	原案可決(多数)
議案第45号	平成31年度日田市水道事業会計予算	〃
議案第46号	平成31年度日田市下水道事業会計予算	〃
議案第47号	平成30年度日田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(全会一致)
議案第48号	日田市、日田玖珠広域消防組合公平委員会委員の選任について	原案同意(全会一致)
議案第49号	人権擁護委員の推薦について	〃
請願第1号	放課後児童クラブの質の確保と放課後児童支援員の処遇改善を求める意見書の提出を求める請願	採択(全会一致)
意見書案第1号	放課後児童クラブの質の確保と放課後児童支援員の処遇改善を求める意見書	原案可決(全会一致)
議員提出議案第1号	日田市介護保険条例の一部改正について	原案否決(少数)
議員提出議案第2号	議員派遣の件について	原案可決(全会一致)
決議案第1号	天皇陛下御即位三十年を祝す賀詞	〃

平成31年 第1回定例会 賛否の状況(全会一致以外)

議案番号	議決結果	※ 賛否		会派名、議員名及び賛否の別																			
		賛成	反対	市政クラブ						新世ひた				市民クラブ			日本共産党		公明党				
				嶋崎健二	坂本盛男	森山保人	財津幹雄	安達明成	渡辺孝裕	高倉和一郎	梅原竜也	飯田茂男	石橋邦彦	居川太城	三苫誠	中野哲朗	溝口千壽	高瀬剛	古田京太郎	井上正一郎	日隈知重	大谷敏彰	松野勝美
議案第12号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第17号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第23号	可決	12	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第35号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第36号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第37号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第38号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第39号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第40号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第41号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第42号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第44号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第45号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第46号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議員提出議案第1号	否決	2	18	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○

※賛否は原案に対するものとし、「○」は賛成、「●」は反対(不賛成)、「欠」は欠席を表します。
議長(飯田茂男)は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。



賛否の主な討論の内容

■議案第23号

(反対討論)

自治基本条例推進事業は、日田駅前広場と合わせて運営団体を公募するJR日田駅舎2階の利活用に係る環境整備について、報道以外に十分な計画説明がない。利用者の利便性、障がい者や高齢者への配慮の点で計画が不明である。予定されるラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博等で観光客の利用を想定した簡易宿泊施設としての整備計画が十分ではない。

(賛成討論)

人口減少社会においては、行政主導からノウハウや経営感覚を生かし行政と連携した民間主導のまちづくりへ転換が必要である。自治基本条例推進事業の人材育成講座で、既に2件の空家物件の活用がされており、今回の取組は早急に行うべきである。本年4月の日田駅前広場完成に合わせ、9月開催のラグビーワールドカップ2019に向けて十分な準備期間を設けるための補正予算計上であり、必要な措置である。

(反対討論)

自治基本条例推進事業は人材育成等のソフト事業で、施設整備のハード事業面が含まれる予算計上は強引である。十分な計画説明がなく補正予算計上は唐突であり、また補正予算全額を新年度に繰越すため事業の進め方に疑問がある。大型スポーツイベントでの外国人旅行客の入込みが期待できる一方、簡易宿泊施設としての整備計画は民業圧迫が懸念され、関係事業者との協議が十分なされていない。

■議案第12号

(反対討論)

目的に、日本国憲法及び部落差別の解消の推進に関する法律等を同列に加えており、法律の理念を異常に強調するものである。また、国の

付帯決議は、地方公共団体に格段の配慮として、部落差別の解消の阻害要因の対策を講じることを求めているが、市民に説明が行われていない。実態調査では新たな差別を生むことがないように内容・手法を慎重に検討することとされているが、手立てがなされていない。

■議案第17号

(反対討論)

政府は消費税10%引上げを表明し、賃金上昇、景気回復、雇用の増加を理由としているが、実質賃金、家計消費ともにマイナスで景気は回復していない。複数税率と複雑な事務、インボイス制度で業者は厳しい経営を強いられ、ポイント還元制度は5段階と複雑である。また、増税分の転嫁は自治体の判断であり、県内で転嫁しない自治体もある。厳しい市民生活から増税に反対である。

■議案第34号

(反対討論)

消費税増税の影響に関して、歳入の市立保育園保護者負担金、認定こども園使用料に反対である。幼児教育の無償化で給食費が実費負担となり、3歳から5歳児は主食費の実費負担に加え副食費が実費化される。無償化前より低所得者の個人負担が増えることに対して、手立てがなされていない。

■議案第35号

(反対討論)

平成31年度の国民健康保険事業納付金が今年度より約7,000万円多い。県の示した標準保険料率が1人当たり8,900円値上げになるためであり、被保険者の負担増とならないよう据置きを基本としたいという代表質問での答弁に対して、来年度予算案には手立てが示されていない。国民健康保険準備基金を取り崩す措置を当初予算から示すべきである。



■議案第36号

(反対討論)

来年度の後期高齢者医療保険料が今年度より約1,682万円多い。国が保険料軽減特例の廃止を段階的に行うため、9割から8割軽減に引き下げられる方が全体の2割を超える。また、75歳まで家族の健康保険の被扶養者で、新たに保険料負担を強いられる方が877人になる。受け取る年金が毎年減る中で、さらに負担増を強いる予算である。

■議案第37号

(反対討論)

介護保険料が高い。3年ごとの連続値上げで、平成29年度決算での滞納者は、第1から第3段階の低所得者が全体の3割を超えている。低所得者の保険料を引き下げる予算とすべきである。また、要介護認定の軽度判定により

必要なサービスが受けられず、身体状況が悪化する事例がある。平成29年度は要介護1から要支援2に下がった人が前年比3倍で、要介護認定が厳しくなっている。

■議案第38号、議案第39号、議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第44号、議案第45号、議案第46号

(反対討論)

消費税増税の影響に関して、議案第17号に関連して反対である。



意見書

次の意見書を採択し、国の関係機関に送付しました。

●放課後児童クラブの質の確保と放課後児童支援員の処遇改善を求める意見書

放課後児童クラブの職員配置基準等を堅持し、放課後児童支援員等の処遇の改善に取り組むよう、下記の項目について要望するもの。

1 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」策定時の趣旨を十分に踏まえ、原則40人の児童に対して2人の職員を配置するとした、「学童保育の『全国的な一定水準の質』」を確保する取組を進めること。

2 放課後児童支援員について、給与等の処遇の改善、資質向上につながる研修の機会の保障等の更なる対策を推進すること。

意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

○FAX 22-8249

○メール gikai@city.hita.oita.jp

ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp/shigikai/index.html>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。3月定例会の会議録は、6月上旬から閲覧することができます。



市政に反映 皆さんの声



平成31年第1回定例会では、3月5、6、7日の3日間にわたり、5会派の代表質問及び一般質問が行われ、15人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

質問 企業誘致の取組を伺う。
部長 IT関連企業を中心に10社程度を訪問し、本市に進出する可能性の高い数社を選んで積極的な誘致活動を行いたい。
質問 森林環境譲与税を財源とする森林整備等の具体策を伺う。
部長 日田市への配分見込み額8千3百万円を活用し、未整備森林把握調査や路網の修繕、所有者への意向調査、林業従事者人材育成などの取組を、6月定例会で提案する。
質問 放課後児童クラブの今後の運営について伺う。
部長 平成32年度からは児童数が40人を超えるクラブは複数に分割する必要があるが、支援員等の配置数の確保や、設置場所の確保が困難なことから、附則

【代表質問】

企業誘致、森林環境譲与税、放課後児童クラブ、清掃センター



市政クラブ
森山 保人 議員

の経過措置期間の見直しなどを検討する必要がある。
質問 清掃センターの施設更新の概要を伺う。
部長 ごみ焼却はストーカー式の30t/日の炉を2基配置し、7t/日のリサイクル施設を併設する想定をしており、概算費用として67億円、その他に諸々の費用が必要と考えている。



議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。

本会議の テレビ中継

一般質問は、水郷TV（市情報センター）及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。



【代表質問】

新年度地方創生の目玉は
防災行政無線！



新世ひた
居川 太城 議員

質問 地方創生総合戦略は5年計画であり、新年度は次期策定期間である。来期に向けた課題や成果をどう次期計画に反映させていくのか伺う。

市長 移住者の増加や特殊出生率の向上は見られるが、人口減少に歯止めはかかっていない。しかし、災害時の取組や住民自治組織設立などがある。来期の計画は人口減少に歯止めをかける積極戦略と人口減少に対応する調整戦略といった基本的な考えで市民の意見を的確に把握し、進めていきたい。

質問 新年度も含めて地方創生総合戦略の目玉は何か。

市長 防災・減災を含めた280MHz帯防災行政無線整備になる。これは緊急放送だけでなく、

エリアを分けて個別情報も流せるので、地域の1つの情報インフラとして取り組んでいきたい。

質問 4年間の市政運営をどう考えているのか。災害を含めず総括を伺う。

市長 災害を含めての話となる。8年前に建てた未来像と何も外れていない。大きな災害で支障を来す時期はあったが、その中で課題に取り組んできた。



防災行政無線受信機(イメージ)

【代表質問】

水道事業の民営化は
慎重な検討が必要！



市民クラブ
古田京太郎 議員

質問 水道施設の所有権は市が持つて、運営権を売却するというコンセッション方式(民営化)の導入について、どのように考えているか。

市長 現時点で判断できるような状況ではない。コンセッション方式の導入は、皆目考えていない。

質問 今後の財政健全化に向けての取組について伺う。

市長 健全な財政運営を進めるため、財政の見える化を進める。次に公共施設等の統合・縮小や廃止、民間移管など、総量の圧縮と維持経費の縮減に努める。上下水道など公営企業の経営基盤の強化を図る。大規模災害に備え、5年間で15億円を目標に基金を積み立てる。

質問 児童虐待への具体的な対応について伺う。

部長 子どもの生命に危険が及ぶ場合は、児童相談所と警察署が連携し、速やかに一時保護などの対応をとる。

質問 この他、障がい者雇用の拡大と就労支援、学校現場の人材不足の実態と対策、教職員の働き方改革について質問した。



市民の水がめ 上野浄水場



【代表質問】

国保税値上げストップ、負担軽減を！



日本共産党 日隈 知重 議員

質問 県から市に示された国民健康保険税は、一人当たり年間8千9百円の値上げ。国民健康保険のため込み金（グラフ参照）を使って、国民健康保険税を引き下げる考えはあるか。

市長 基金の活用も視野に入れ、被保険者の負担増とならないよう据え置きを基本としたい。

質問 国民健康保険税の均等割について、赤ちゃんから高校生まで免除する考えはあるか。

市長 子育て世帯の支援につながるような軽減策を講じていきたい。

質問 市の財政調整基金を使って、小中学校の給食費の無償化に取り組む考えはあるか。

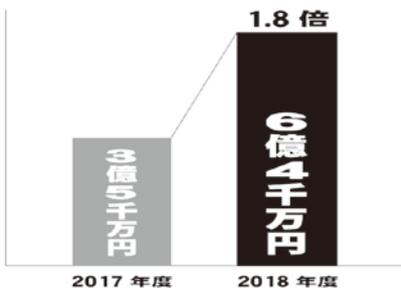
市長 給食費の無償化をするには年間約2億円の新たな財源が

必要となる。将来にわたり給食費の無償化をするには、恒久的で安定的な財源が必要。財政調整基金は限りある財源であり、恒久的な財源として活用することはできない。

質問 独自の被災者生活再建支援金制度を作る考えはあるか。

市長 被災者生活再建支援金の増額は考えていない。

国民健康保険のため込み金



【代表質問】

公共交通としての今後の移動手段の方針を早急に！



公明党 松野 勝美 議員

質問 中心部を初め、多くの地域の方より、交通手段の確保が難しく、病院や買い物に不便を感じているとの声を予想以上に聞く。交通対策のあり方は、市の最重要課題の一つではないかと思う。今後の移動手段の方法として市の方針を伺う。

部長 日田市地域公共交通網形成計画を策定し、暮らしを守る地域公共交通づくりを実現する取組を現在進めている。

質問 各地域からバスが欲しいなどの要望が出ていたと思う。私も交通手段確保のために担当課に相談に行ったが、どのように検討して進んでいるか伺う。

部長 公共交通が不便な地域から、バス路線延伸などの要望を複数いただいている。その都度、

該当地区の関係住民と協議を重ね、実施に見込まれる利用者数なども確認しながら、その必要性も含めて検討しているところである。

質問 この他、地方創生・人口減少対策、今後の住民自治組織の役割と支援、河川と道路の災害復旧の状況などについて質問

した。



延伸要望が多い“ひたはしり号”



【一般質問】

天瀬地域の医療福祉の
拠点づくり



市政クラブ
安達 明成 議員

質問 天瀬総合福祉センター等
複合施設整備事業の概要とス
ジュールについて伺う。

部長 東溪診療所、総合福祉セ
ンター、公民館東溪分館を一体
化した施設を、同じ敷地内に整
備するもの。平成31年に実施設
計、平成32年度に工事完了の予
定である。

質問 複合施設ということ
で、それぞれの機能が十分生かせる
よう、取り組んでいるか。

部長 共有部分などの関係で全
体面積は減るが、設計段階で、
関係部署、地元との意見調整を
図り、しっかりとした施設とし
たい。

支えあうまちづくり

質問 地域の活性化や地域活動
の支援に従事している集落支援

員、地域おこし協力隊員の充足
に向けて、しっかりと取り組む
べきではないか。

部長 集落支援員、地域おこし
協力隊員は、定員36名のうち12
名が不足している。情報発信
を強化するとともに、年間を通
して募集活動に取り組んでいく。
質問 この他、県道12号天瀬阿
蘇線などの地域を結ぶ幹線道路
の整備などについて質問した。



【一般質問】

家族経営体農業の
推進について



市民クラブ
溝口 千壽 議員

質問 昨年12月に国連で、家族
経営体農業などの小規模農家の
生活水準を保ち、協同権利等の
保護を促す国連宣言が、日本は
棄権したが採択された。法的な
拘束力はないが、宣言遂行のた
めの措置や行政的支援、財源を
確保する必要があるとされてい
る。この宣言にある家族経営体
農業の推進についてどう受け止
めているか伺う。

部長 小農宣言については、
色々な解釈があるが、国連は家
族農業の10年を定めており、家
族農業に係る施策の推進を求め
ている。また本市の家族経営体
数は、全農業経営体数の97%を
占めている。そのため、本市の
農業振興の上では家族経営体農
業の推進は重要であると考えて

いる。

質問 種子法の廃止について、
農家の皆さんが大きな懸念を抱
いているが、市の考えを伺う。

部長 種子法の廃止について、
関係する業務には直接影響しな
いと考えている。国・県で今後
対応していくと考えているが、
懸念があるのであれば、しっか
りと意見交換をして、市でき
る対応があれば考えていく。

業の推進は重要であると考えて



農作業の様子



【一般質問】

公共工事現場に
技能士の常駐を



市政クラブ
財津 幹雄 議員

質問 日田地域技能士会は、建築工事の品質の均一化と技能士の地位向上の点から、大分県技能士会連合会を通じて公共工事現場に技能士の常駐を求めてきたが、市の対応を伺う。

部長 県は営繕工事において業者への指示事項の特記仕様書に明記している。市では平成29年10月から適用職種を記し配置を指示している。

質問 木材製品の販路拡大の事業である「木づかい促進事業」の加算項目に、左官や畳、表具など地場技能者育成の点から、新築において和室を一間造ることを追加できないか。

部長 本事業は木材関係団体で構成する「顔の見える日田材の家づくり等推進協議会」でも検

討しているが、現状では難しい。質問 建築関係技能者育成のためにどんな事業をしているか。

部長 日田市技能大会の開催や日田共同高等職業訓練校の運営への補助や技能士を目指す若手社員を正規雇用した場合に人件費の一部を助成している。また、新規事業としては大工、左官の自主研修会の講師謝金などを支給する事業を予定している。



職人がいなくなると、修復も難しくなる

【一般質問】

市長を補助する市の組織体制を
どう構築するか



新世ひた
中野 哲朗 議員

質問 平成27年9月に市長が提案した「副市長二人制」は賛成少数で否決されたが、そのことで行政の停滞や不都合はあったか。

市長 市民サービスの低下を招かないよう取り組んできた。質問 市長は再提案したいと述べていたが、その後、市民や議会にどのような説明を行ったか。

市長 市民や一部の議員とは、話し合いを持ってきた。必要があるかと判断した折には、改めて提案したい。

質問 部長職に国や県の外部人材を求めているが、副市長二人制を補足するとの意味なのか。

市長 当然そのような機能もあるとご理解いただいた方がよい。質問 議会が関わることで

ない人事権の範ちゅうで代用しているのであれば、より丁寧な説明と慎重な運用が求められないか。

市長 自分が手逃れしようという姑息な話ではないので、間違えないように理解いただきたい。質問 三期目を目指す次の選挙では、副市長二人制を示さないのか。



副市長二人制の行方は…



【一般質問】

ふるさと納税を活用して
関係人口を増やす取組を



公明党 坂本 茂 議員

質問 ふるさと納税の実績について伺う。

部長 寄付額は、平成28年度約1億1994万円、29年度約2億7089万円で、公民館の新築、改修や防犯灯設置、小中学校の補助教材費などに活用した。

質問 今後の取組として、ふるさと納税を活用して関係人口を増やしていく必要があるのではないか。

部長 関係人口が増えると市を応援してくれる人が増え、まちづくり活動への参画や移住・定住にもつながる。今後も返礼品の充実に努め、積極的に取り組んでいく。

質問 ガラントや古墳群の2号墳はなぜ整備が遅れているのか。
教育次長 1号墳とは保存環境

が異なり、2号墳は盛り土が半分程度なくなっている。装飾の保存に適した方法を確認する必要がある。環境調査をするために整備をする計画である。

質問 1号墳の公開を含めた今後の整備計画について伺う。

教育次長 ガイダンス施設を建設し、平成33年度頃のオープンが予定である。



ふるさと納税の今後の行方は

【一般質問】

日田市の農業6次産業化の
方針と具体的な取組



新世ひた 三苦 誠 議員

質問 本市の農業6次産業化の方針と具体的な取組について伺う。

部長 農商工官連携、6次産業化の取組を行う農業者を育成するため、農産物の付加価値を高める商品開発講座や農産物加工場の整備を推進することとしている。完成した新商品を販売していくためには、販路の開拓が重要となることから、農商工官で連携した商談会や物産展など各種フェアを活用しながら、日田玖珠地域産業振興センターや大丸福岡天神店の日田市アンテナショップ、ひた生活領事館などでの販売につないでいく。また、商品開発により観光との連携を深め、農業振興を図る。

山間地域の農業の担い手対策

質問 山間地域の集落営農組織等担い手の育成対策を伺う。

部長 集落営農組織がある地域に対しては、大型の共同機械購入時の費用を補助し、農地保全と生産性の向上を目指した取組への支援を行っており、今後も、地域農業を支える集落営農組織の育成並びに強化を積極的に図っていく。



山間地域でのしいたけ栽培



【一般質問】

珍珠川左岸の不法盛り土の
現状と対応



市政クラブ
坂本 盛男 議員

質問 三芳地区の珍珠川左岸にある不法盛り土について、これまでの対応を伺う。

部長 河川法に規定されている河川区域内にある土地に不法に盛り土を行っており、平成20年度以降、河川管理者である国土交通省の筑後川河川事務所による口頭注意や文書による行為の中止の指示など、行政指導を重ねている。

質問 住民の不安解消に至っていないが、今後の市の対応について伺う。

市長 河川内にこのような盛り土があるのは非常に危険な状態だと認識している。今後も粘り強く要望していきたい。

質問 がん発生率で胃がんが男性で1位、女性は3位を占めて

いる。原因菌であるピロリ菌の感染検査を公費で助成できないか伺う。

部長 若年者のピロリ菌の感染率は極めて低い結果が出ていることから、市では30歳以上の方を対象にしている。

質問 この他、河川敷グラウンドの整備、児童虐待問題、ドロインの活用について質問した。



復旧が待たれる河川敷グラウンド

【一般質問】

花月川の河川改修と
道路整備について



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 住民の要望を踏まえながら丁寧な対応、コミュニケーションを維持する立場で取り組むのか。

部長 地域コミュニケーション維持の観点から関係者の意向を十分に聞き取り、代替地の協議など丁寧な対応を考えている。

質問 道路など用地買収の協議には、国と市の共同で取り組むのか。

部長 一緒に事業をするので、

国と市の共同の責任で取り組む。
質問 国は拡幅することで1m水位が下がると言ったが、そのくらいでは内水氾濫は解決しない。常設の排水ポンプが必要ではないか。

部長 何らかの調整機能があるのではないかと国と話をしており、今後検討する。

質問 道路などに面した民間のブロック塀の撤去の補助制度について伺う。

部長 通学路沿いにあるブロック塀で、1m以上の高さの物、ひび割れや傾きがあるもの、建築基準法を満たしていない危険な状態にあるものが対象で、補助は除去費用の2分の1で上限10万円。補助事業の周知を行い、危険ブロックの除却を進める。



拡幅が予定されている花月川



【一般質問】

新たな観光事業への
取組の推進



市政クラブ
嶋崎 健二 議員

質問 新たな観光商品の開発に挑む「ひた産業観光」の受入れ態勢の構築について伺う。

部長 「日田の山と水と木、そして技」を、のんびりと五感で感じるモデルコースを設定した。今後は広くPRし、視察研修の受入や大手旅行会社の法人部門などへ、企業や教育関連団体等の研修視察のための受注型ツアーの商品の造成を働きかけたい。

質問 県とも連携し取り組んでいる「奥日田観光」の推進状況を伺う。

部長 昨年8月には「奥日田ローカルツーリズム」が設立され、大山町に事務所が開設された。「奥日田の山と川」を活用した質の高いアウトドアコンテンツを確実に作り込み、奥日田デザ

イン会議を中心に取組を進めていく。

質問 新たな観光開発を進めるうえで、軌道に乗るまで観光協会などへ市職員を派遣する考えはないか伺う。

市長 職員の派遣は考えずに、専門職をそこに作ってしまおうと考えている。協会の強化策は担当課を中心に支援していきたい。

質問 この他、旧町村等の人口減少対策などについて質問した。



【一般質問】

行政からの一方通行ではなく、
対話による市民協働の
まちづくりを！



市政クラブ
高倉和一郎 議員

質問 日田市障がいによる差別を解消し誰もが心豊かに暮らせるまちづくり条例案を、事例を列記せずに理念条例とした理由と、条例施行後の啓発活動の予定や方針について伺う。

部長 列記された差別禁止の場面以外に遭遇した場合、その差別を助長する可能性が考えられるため列記を避けた。広報ひたやパンフレットの作成配布、講演会などにより周知、啓発を行い、また、出前講座の開催や市職員を講師として派遣する。今後、条例推進のための取組指針を策定する。

質問 啓発活動が行政からの一方通行にならないように、ワークショップの開催などを通じ、市民協働による取組を要望する。

部長 可能なものから取り入れて、啓発に取り組んでいきたい。

質問 市の業務に対するRPAやAIの導入に関する考え方は、部長 推進体制の構築を初め、導入可能な業務の洗い出しなど、早期の導入に向けた準備に新年度から取り組む予定である。

質問 この他、JR日田駅舎2階と駅前広場の活用について質問した。



JR日田駅前広場 イメージ図



報告

各委員会の
議案等の審査結果

● 総務環境委員会 ●

消費税法等の一部改正に
伴う関係条例の整備

提案のあった条例案は、消費税法等の一部改正により8%の消費税率が本年10月から10%に引き上げられることに伴い、使用料、手数料及び負担金等への適正な転嫁を図るため、関係条例の整備を行うものです。

審査の中では、執行部から「消費税率の引き上げに伴う公共料金等の取扱いは、行政経費の支出に消費税が転嫁され、使用料等に消費税率の引き上げ分を転嫁しない場合は広く市民が負担することになるため、今回の措置は受益者負担の原則、及び公平性の確保の点において必要な改定である」また「当初予算編成では歳入予算、歳出予

算ともに、年度途中の増税分を含めて予算編成を行うことが正式な手続きである」との説明がありました。

一方、当委員会より合議を求めた教育福祉委員会からは、「市民の負担が大きく消費税の転嫁をするべきでない」「6月定例会での提案でも対応は可能である」との意見がありました。

当委員会としては、消費税率の引き上げに伴い市の事務・事業においては必要かつ適正に転嫁すべきであるとして、本案は原案の通り可決すべきものと決しました。



● 教育福祉委員会 ●

新年度一般会計予算を
重点的に審議

■ 不妊治療費助成事業

本事業は、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、県が行っている不妊治療助成に上乘せの形で助成を行うものです。なお、新年度は対象者の費用負担額や不妊治療回数、妊娠までに要した期間等のデータ収集をやり直し、負担軽減につながる取組を行うよう付言しました。

■ 健康活動応援事業

本事業は、ウォーキングやスロージョギングをメインとした健康づくりや特定健診・特定保健指導を受診した場合にポイントを付与し、商品券との交換や自治会に寄付することができる事業です。なお、本事業への登録者の継続率が低いため、継続手続きの簡素化や事業拡大のため更なる啓発活動を要望しまし

た。

■ ICT教育環境整備事業

本事業は、新学習指導要領の全面実施に向け、コンピュータや情報通信ネットワーク等の情報手段を活用し、学習活動の充実を図るため、各小中学校への無線LAN環境やタブレット端末等の整備を図るものです。なお、事業実施に当たっては、教職員の研修の充実を図ることが重要となり、ICT教育を推進することは、教職員の負担が増すことにも繋がるため、働き方改革の観点からも、ICT教育をサポートする人材の確保を図るよう付言しました。



ICT教育に用いるタブレット端末



産業建設委員会

駅前広場の今後の利用
十分な協議が必要

日田駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定については、「団体等の利用に支障をきたさないようにすべきではないか」「駅前広場の賑わい創出の企画、提案にあたっては、今後の利活用の見通しに十分な協議が必要」等の意見を添えて、原案のとおり可決しました。

平成31年度一般会計予算のうち、「アンテナショップ大丸福岡天神店運営委託事業」について、アンテナショップの来客は食品購入を目的とした客が主で、情報発信の機能が低く本来の目的と乖離している現状であることから、2020年度以降の運営は、費用対効果の検証、消費者動向データ等を分析し、それを生かした方針と対策を講じることを要望しました。



工事中の日田駅前広場

ト」は、総務省の「地域おこし企業人交流プログラム」を活用し民間企業のノウハウや知見を持った人材を受け入れ、商店街等のまちなかで創生事業を加速させるものです。駅前、中央、豆田、隈の商店街区及び天ヶ瀬温泉街区を活動範囲とするもので、受入期間終了後のフォローアップ体制を整備し、新規事業としての効果を期待するとの意見がありました。また、この事業の人材を、屋形船修復事業の新たな活用策の創出にも活用し、屋形船利用客の増加につながるよう要望し、多数を持って可決しました。

日田市、日田玖珠広域消防組合
公平委員会委員の選任

次の方を任命することに同意しました。

一木 俊廣 氏（淡窓1丁目）

人権擁護委員の推薦

次の方々を推薦することに同意しました。

梶原 眞由美 氏（天瀬町）

河津 ちづみ 氏（大山町）

公職選挙法（寄附行為）に関するQ&A

虚礼廃止にご理解とご協力を！

Q 自治会や老人会等の各種団体の総会に案内を受けた議員が、ご祝儀やお酒を持参して出席することができますか。

A ご祝儀やお酒は寄附に当たりますので、罰則をもって禁止されています。

Q 地区のお祭等に際し、議員がお酒、ご祝儀を出すことができますか。

A 寄附に当たりますので、罰則をもって禁止されています。

この他、議員が、地区運動会などで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・お歳暮・病気見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

6月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

6月6日(木)	本会議（議案説明）
13日(木)	} 本会議（一般質問）
14日(金)	
17日(月)	
19日(水)	本会議（議案質疑）
20日(木)	} 委員会（議案審査）
21日(金)	
25日(火)	
27日(木)	本会議（討論、採決）



表紙のみなさん

平成27年9月に創部し、4年目にして「第12回春季全日本小学生選抜（男・女）ソフトボール大会（全国大会）」に出場した市内で唯一の小学生によるソフトボールクラブ・墨谷^{すみや}リトルの梶原^{あきら}章監督と選手のみなさんにお話を伺いました。



チームの特徴などをお聞かせください

メンバー構成は、市内及び玖珠町の小学1年生から6年生までの男女23人です。特徴は、低学年から高学年までみんな仲が

良く、明るいチームです。モットーは、『楽しむことを前提に、ソフトボールを通じて、体を作り、心を作り、仲間を作る』です。

全国大会に出場した感想をお聞かせください

梶原監督.. 県大会を制覇し、3月末に高知市で開かれました。これまでに経験したことのない独特な雰囲気の中、広島県代表と対戦し、1対2で敗れました。負けて悔し涙を流す子ども達もいましたが、そこから意識が変わり、成長を感じています。



キャプテン・梶原一晋^{いっしん}さん.. 全国大会ではいつもの力が出せませんでした。これからは、みんなで声をかけあって、どのチー

ムよりもたくさん練習をして、また全国大会に出場し、一戦、一戦勝ち抜きたいです。



今後の展望をお聞かせください

勝ち負けのあるスポーツなので、勝った喜びを味わってもらいたいのです。そのためにも努力が必要です。しかし、勝つことだけがすべてではありません。日々の努力・プロセスも含めてチームのモットーを基本にして、人間形成のため指導していきたくて考えています。

編集後記

私達が任期中に発行する議会だよりは、この号で最後となります。編集委員会では「手に取って読んでもらえる議会だより」を目指して努力してきました。1年前の議会だよりと比べてみると議員の質問のページは写真やカットを入れ、字の間隔も広く取り、見やすくなったと思います。また表紙は市内で活躍している個人や団体にスポットを当て、その活動や思いを述べていただくようにしました。改選後、新しい議員によりさらに「親しみやすい、関心を持つてもらえる議会だより」を目指して変化していくことでしょう。引き続きご意見などをお寄せください。

(議会報編集委員会委員

大谷敏彰)

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎08214)へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

